

令和3年1月 8日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役副社長 宇野 護 様

静岡県中央新幹線対策本部長  
静岡県副知事 難波 喬司

中央新幹線南アルプストンネル（静岡工区）における  
トンネル掘削の前段で行うボーリング調査について

令和2年11月17日に協議のあった、千石ヤードで貴社が行う下記のボーリング調査等については、累積の土地の形質変更面積が5ha未満（4.98ha）であることから、自然環境保全協定の締結の必要はありません。

なお、土地の形質変更面積が5ha以上になる場合、県条例に基づいた自然環境保全協定を締結していただくこととなります。

調査に当たっては、自然環境への負荷を最小限に抑えるよう御配慮いただくとともに、協議のあった内容等に変更が生じる場合は事前に御連絡ください。

なお、ボーリング調査の結果については、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議に御報告いただきますようお願いいたします。

記

1 千石ボーリング調査

- (1) 掘削長 斜下向：200m
- (2) 土地形質改変面積 0.06ha（活動拠点整備工事に加算する）
- (3) 工期 令和3年1月から令和3年6月まで

2 藤島沢付近発生土置き場ボーリング調査

土地の形状変更面積は極僅か（ボーリング7か所）であり、自然環境への影響が少ないと判断できることから、自然環境保全協定の対象としません。

3 下木賊沢付近への仮置き

過去に整地された場所であり、希少な植物については移植済みである。現状復旧を前提としている土砂の仮置きであることから、自然環境保全協定の対象としません。

仮置き期間の短期化、土砂量の減少に努めてください。